

眼鏡学教本 初版に誤りがございました。読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。
訂正してお詫び申し上げます。

正誤表

■13P左段 2.3.2 弱主経線方向の3行目

誤：強主経線

正：弱主経線

■20P右段下 図3-5のキャプション

誤：40cm にピントを合わせるのに必要な調節

正：40cmにピントを合わせるのに必要な調節量

■15P左段下から12行目～下から7行目

誤：

4) 斜視

強度近視ではしばしば白内障を伴う。中年以後に起こる核白内障が特徴であり、それに伴って近視度数がさらに増加する。(白内障手術では、レンズ度数が0D前後であっても眼内レンズを挿入することで、術後の網膜剥離が減少傾向になると言われている)

正：

4) 斜視

近視の未補正あるいは弱補正では、輻輳と調節の不均衡が起り、輻輳不全を起こし外斜位となり、ついには外斜視になることがある。

■39P左段 6.1.1 遠方両眼瞳孔間距離測定の一例 ⑤の1行目

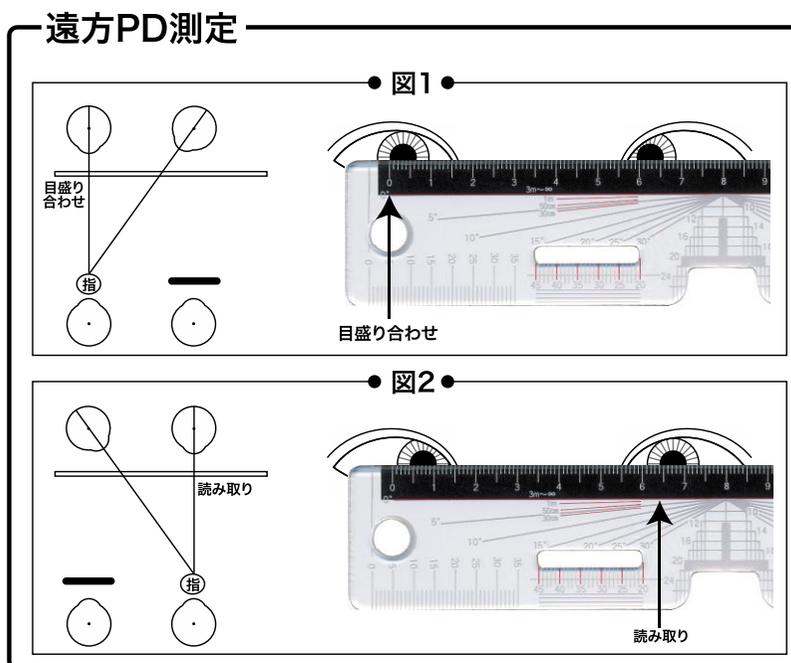
誤：相手の右眼の正面

正：相手の左眼の正面

■40P図6-1内の図1および図2

誤：図

正：以下の図にサシカエ



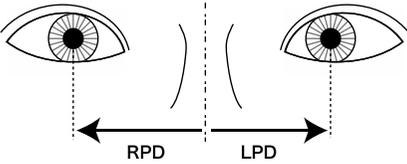
■41P図6-2

誤：図

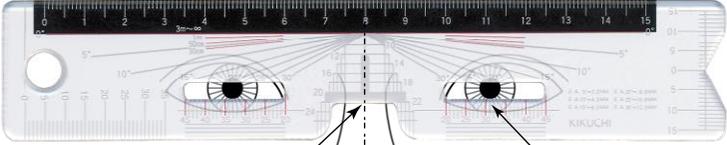
正：以下の図にサンカエ

遠方モノキュラーPD測定

鼻梁中心



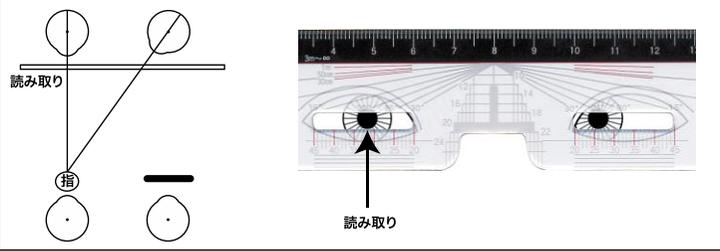
RPD LPD



鼻梁中心とPD差しのセンターを合わせる

瞳孔下辺にPD差しスリットの目盛りを合わせる

● 図1 ●

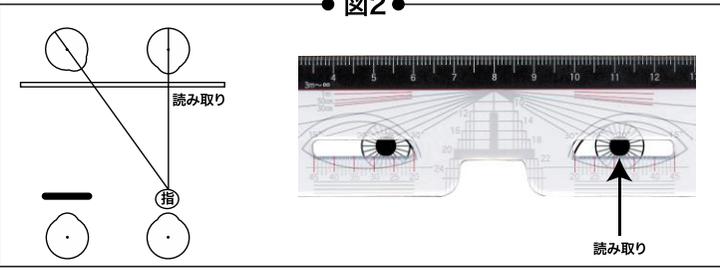


読み取り

指

読み取り

● 図2 ●



読み取り

指

読み取り

Detailed description: The diagram illustrates the correct method for measuring monocular PD for distance vision. It starts with a top-down view of two eyes, showing the bridge of the nose (鼻梁中心) and the distance between the pupils (RPD and LPD). Below this is a ruler and a pair of glasses. The ruler is used to align the center of the PD mark with the bridge of the nose. The glasses are then used to align the bottom edge of the PD mark with the bottom edge of the pupil. Two diagrams, labeled 図1 and 図2, show the correct alignment of the ruler and glasses. In 図1, the ruler is positioned above the glasses, and the PD mark is aligned with the bridge of the nose. In 図2, the ruler is positioned below the glasses, and the PD mark is aligned with the bottom edge of the pupil. The labels '読み取り' (reading) and '指' (finger) indicate the correct measurement points.

■46P左段 6.4.4 偏光レッドグリーン法の一例

③の3行目

誤：右眼に

正：左眼に

③の5行目

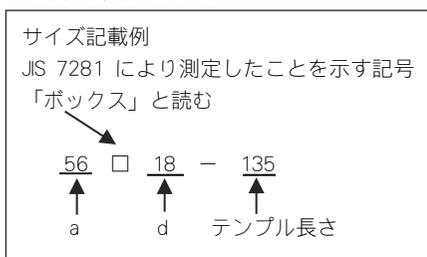
誤：右眼に

正：左眼に

■92P右段上図1-10 サイズ記載例

誤：図

正：以下の図にサシカエ



■93P図1-13 玉型デザインとその特徴の最後

多角形〔オクタゴン・ヘキサゴン〕の説明文

誤：はっきりとした5つ（ヘキサゴン）または6つ（オクタゴン）の角がある。

正：はっきりとした6つ（ヘキサゴン）または8つ（オクタゴン）の角がある。

■131P右段下から1行目

誤：また、累進レンズでは複雑な形状の歪みが発生

正：また、累進レンズでは複雑な形状の歪みが発生する。これもディストーションとか歪曲収差と呼んでいる。

■144P右段上から9行目

誤：2.9 参考文献

1)JIS Z8120:2001 光学用語
2.10～2.13

2.9 引用文献

正：2.9 参考文献

1)JIS Z8120:2001 光学用語
2.10～2.13 引用文献

■190P右段上から4行目

誤：いもの対しては、

正：いものに対しては、

■195P左段上から9行目

誤：ためにプラス度数では

正：ためにプラス度数では

■198P左段上から5行目

誤：（以下FCもおOCに統一する）

正：（以下OCに統一する）

■204P左段上から13行目

誤：鋭角な場合の

正：鈍角な場合の

■208P右段下から4行目

誤：たりしやすくその結果がたつきやすくなってしまう。

正：たりしやすくなってしまう。

■224P左段下から5行目

誤：フロント側の丁番側や

正：フロント側の丁番や

■226P右段上から5行目

誤：堅牢さは欠けるが

正：堅牢さには欠けるが

■227P右段下から3行目

誤：廉価でパーツもされている

正：廉価でパーツも用意されている

■303P段 2-8 視野の障害の1行目～3行目

誤：視野が欠けてくる疾患については「眼の自覚症状と眼疾患」の項にリストしてあるので、ここでは詳細は省くが、前述のように

正：視野が欠けてくる疾患は多数あるが、前述のように

眼鏡学教本に誤りがございました。読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。
訂正してお詫び申し上げます。

追加正誤表 (2022年1月7日)

■42P図6-6～図6-9

誤：図

正：以下の図にサシカエ

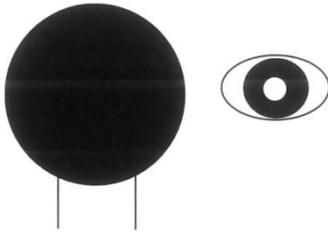


図 6-6 右眼をカバー、左眼の動きを観察

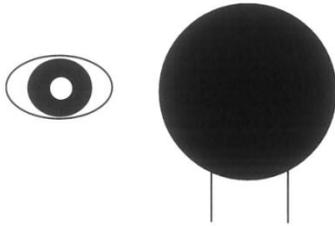


図 6-7 融像除去のため、片眼固視

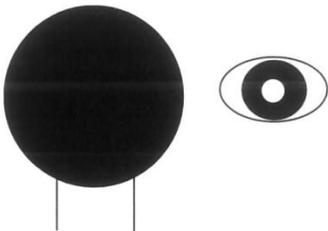


図 6-8 融像除去を維持するため素早くカバーを移動

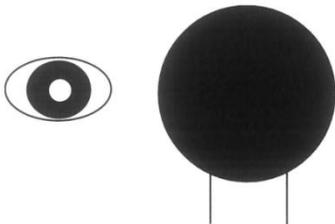


図 6-9 融像除去を維持するため素早くカバーを移動

■104P右段上から17行目および26行目

誤：「対象デザイン」

正：「対照デザイン」

■265P右段下から4行目の上に以下の行を追加

b)調整方法

■267P左段上から5行目

誤：a)確方法

正：a)確認方法